

なかもつ寛ニュース

2013.1 月

NO.7

二〇一三年 新年号

巳



年頭のごあいさつ



ハイサイ、平成二十五年の新春を心よりお祝い申し上げます。今年一年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう念願いたします。

昨年の政治情勢は、風雲急を告げる年末の衆議院総選挙で三ヶ月ぶりに自民、公明連立政権が国政の舵取りを託されました。自民党の圧勝のように映りますが、前政権が国民の期待を大きく裏切り信頼を失くし自滅したというのが政権交代の要因であると指摘しておきたいと思えます。この様子は「平家にあらざんば人にあらざ」 「おこれる人もひさしからず」と平家物語にあるように栄華を極めた平家が滅亡して行つた有様によく似ています。今度の政権には「勝つてかぶとの緒を締めよ」との故事にならない気を引き締めて、国民、県民目線であが国の国難に立ち向かつて頂くことを願います。

さて、昨年は復帰四十周年の節目に新しい沖繩振興計画「二十一世紀ビジョン」がスタートし、全国でも特例的な「沖繩振興一括交付金予算」が措置されました。また、天皇皇后両陛下をお招きした「全国豊かな海づくり大会」「ミスインターナショナル世界大会イン沖繩」「太平洋島サミット」開催等、様々な記念事業が行われ県民に自信と勇気と誇りを与えた特別な年でありました。

また、本市においては新庁舎の完成をはじめ市議会基本条例制定等、本市の行政・自治の礎を築く年となりました。本年は巳年。更に四月一日から中核市へと那覇市は脱皮します。

このように行政課題が山積する中で、私の昨年における議会活動は、「教育福祉常任委員会委員長」「議会運営委員会委員」「中核市移行に関する調査特別委員会委員」「那覇市・南風原町環境施設組合議会議員」「自民・無所属・改革の会政調会長」「琉台友好議員連盟事務局長」として、与えられた使命、職責に精一杯取り組み参りました。

本年は、任期四年を迎える年となり「かぶとの緒を締めよ」の如く、議員として更に襟を正し、市民の声を大切にこれまで行つた政策提言の総点検と新たな政策づくりに全力を挙げて取り組む所存でありますので、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十五年一月吉日

那覇市議会議員 なかもつ

寛